

## 令和2年度 学校評価結果報告書

桶川市立日出谷小学校  
校長 閑野 千鶴

- 1 目指す学校像 「ひかる瞳 でっかい夢 やりぬく力 を育む日出谷小学校」  
 ・よい習慣をつくる ・よい授業をつくる ・よい関係をつくる ・よい環境をつくる

## 2 評価結果

領域	No.	評価項目	自己評価		学校関係者評価
			評価	説明及び学校の考え	
組織・運営	1	学校教育目標の達成に向けて、協働体制で取り組んでいる。	A	・コロナ禍における行事の変更などにも、各主任が中心となり積極的な改善策を盛り込んだ計画が立案されている。日常の教育活動については、校務支援PCの活用が一層図られ、校内組織の連絡体制ができています。	・コロナ禍で行事の中止、変更が多い中、できることを考え、計画していた。今後も引き続き協働体制で取り組んでもらいたい。
	2	保護者や地域住民からの相談・問い合わせに組織的に対応している。	A	・保護者や来校者に丁寧に対応するように心がけている。また、電話や連絡帳等での問い合わせに対しては管理職への報告、連絡、相談が徹底されている。	・教職員の来校者への対応が丁寧である。
学習指導	3	児童が主体的に学ぶ授業づくりをしている。	A	・学校課題研究(国語・算数)等の研修や、日々の授業改善を通して、教育の質的向上が図られ、全職員で児童の主体性を高めるための手立てを考え実践している。	・子供のデジタル教材への興味が高い。これからも積極的に取り組み、楽しく学べる工夫をお願いしたい。
	4	学ぶ喜びを味わえる授業づくりをし、基礎・基本の定着を図る工夫をしている。	A	・算数の少人数指導では2クラスを4つの小集団に分けたり、デジタル教材を積極的に取り入れたりするなど、一人一人の児童に対し、個に応じた指導を充実させている。	・自主学習の取組はとても良いので継続してもらいたい。
	5	家庭学習の習慣が身に付いている。	A	・1、2年生は毎日の宿題、3年生以上は自学ノートへの取組などを通して、家庭と連携して学習への意欲を高め、主体的に学習に取り組む児童を育てている。	・落ち着いた雰囲気の中、授業が行われ、子供たちが集中している。
生徒指導・教育相	6	元気よくあいさつや返事ができている	B	・マスクを着用しているせいか、自分から進んであいさつできる子が少なかった。児童会が主体となって、あいさつ運動を展開し、あいさつへの意識を引き続き高めていく。	・来校した際の子供たちの挨拶が気持ち良い。今後もあいさつ運動の取組は継続してほしい。
	7	規律ある態度で生活している。	A	・トイレも新しくなり、清掃活動への取組も改善されている。毎月の生活目標を生徒指導委員会等で効果的な改善策を考え、同一歩調で指導に当たっている。	・目が合うと笑顔で挨拶をしてくれる。言葉遣いも良い。
					・休み明けの登校時は元気がなかったが、1週間程度で改善された。

談	8	いじめのないあたたかいクラスづくりがされ、支えあい励ましあう人間関係がつけられている。	A	・いじめ調査などにより早期発見に努め、いじめられた児童の立場に立ち、学年・学級で迅速に対応している。また、すべての教育活動において全職員が一丸となり、いじめを絶対に許さないという風土が確実に醸成されている。	・マスク等をしていることもあるが、あいさつが少なくなっている気がした。 ・いじめ等の話を聞いたことがない。 ・学校外でも子供たちからあいさつされることが多い。
健康教育	9	運動習慣の定着と体力の向上を図る取り組みがされている。	B	・教職員の自己評価からも他の項目より達成度が低い。コロナの影響もあるが全教職員のアイデアと児童の主体性で、運動する機会を確保し、運動習慣を定着させていく。	・マスクをしながらの運動は制限が多いのではと感じる。そのような中、教職員のアイデアで児童の主体性を促し、できる限り運動する機会を確保する努力をしていた。
	10	安全管理(災害、事故、不審者等)や救急措置等の日常的な健康管理に努めている。	A	・毎月の安全点検や避難訓練等を確実に実施し、災害時に備えている。また、非常時の際の防災機器の取り扱いや救命措置等に関しては適宜、全教職員で確認を行っている。	
学習環境	11	無言清掃が徹底されている。	B	・年々改善されている。引き続き生徒指導部や清掃教育部が連携して、児童が自ら学校をきれいにしようという意識を学校全体で高められるような指導を続けていく。	・時々来校すると、校内は清掃が行き届いておりきれいである。 ・子供たちが自分たちの学校をきれいにしよう意識している様子が伺える。
	12	掲示板や学年園が計画的に活用されている。	A	・学校ファーム担当が中心となり、学校応援団と連携して、時季に合った充実した学年園になった。掲示板は使用計画を再検討し、各学年・学級の教育効果を高めていく。	
教職員の 資質 向上	13	教職員の指導力向上に計画的・組織的に取り組んでいる。	A	・教職員が研修等に積極的に参加していた。教員の働き方改革を進め、教材研究の時間を確保するとともに、より計画的・組織的に研修等の機会を設け、指導力向上を図っていく。	・積極的に取り組んでいるようである。校内研修を自ら推進していくことで、教職員が資質を向上させているのはとても良いことである。
	14	教職員の服務規律の確保に努めている。	A	・倫理確立委員会や研修を通じて、全教職員が教職員事故防止の意識を高く持っている。今年度についても、不祥事、教職員事故はゼロである。	
家庭・ 地域 との 連携	15	学校・学年だより、HP等で保護者や地域に積極的に情報提供を行っている。	A	・ホームページを活用し、行事やPTA活動、学校応援団などの取組等を多くの写真とともに情報発信している。行事予定の変更や不審者情報などでは、学校メールを活用して積極的な情報提供を行った。	・今年度はホームページ、学校メールが保護者にとって大事な情報ツールになった。 ・ホームページの活用が頻繁に行われていた。保護者としても学校の様子が分かると安心である。 ・回覧等、自治会を通して地域の協力を求める等地域との繋がりを大切にしていることが伺える。
	16	地域の人材を積極的に教育活動に活用している。	A	・コロナ禍においても、各教科において保護者や、地域の方々の協力を得て、体験的な学習を実施することができた。学年ボランティアの引継を確実にを行うことで、多くの方々のご協力をいただいた。	